

収集運搬業LCA分析

目的及び調査範囲の設定

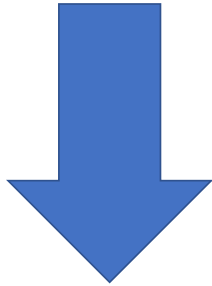
収集運搬業の運営上発生する環境負荷量を明らかにし、その結果を基に環境負荷量の削減に向けて取り組みをするデータの収集範囲は、収集運搬業における資源の投入量「INPUT」とCO₂の排出量「OUTPUT」を算出することとする。

* インベントリ分析

軽油 係数 2.58

(軽油：千ℓ、距離：千km)

INPUT				
	2023年	2024年	2025年	
燃料年間使用量 軽油	1,273 千ℓ	1,281 千ℓ	1,249 千ℓ	
年間走行距離	3,183 千km	3,334 千km	3,186 千km	
燃 費	2.50 km/ℓ	2.60 km/ℓ	2.55 km/ℓ	



	2023年	2024年	2025年
売上高	3,378 百万円	4,832 百万円	5,396 百万円
廃棄物運搬量	433,736 t	445,593 t	435,604 t

環境負荷低減への取り組み

- ① デジタルタコメーター利用し、エコドライブ指導
- ② 低公害車の導入を図る
- ③ ドライブレコーダーの導入により、エコドライブ指導
- ④ ドライブレコーダーの導入により、業務効率化を図る



2026.4.30.



影響評価(インパクト)評価

(排出量：千t)

OUTPUT			
	2023年	2024年	2025年
CO ₂ 総排出量	3,279 t	3,305 t	3,272 t

$$1 \text{ km 走行でのCO}_2\text{排出量 (kg-CO}_2\text{/km)} = \frac{2.58 \text{ (Kg-CO}_2\text{/L)}}{\text{燃費 (Km/L)}}$$

地球温暖化



環境負荷の低減



原単位換算 CO₂

	2023年	2024年	2025年
対売上：CO ₂ 排出量	0.97 g-CO ₂ / 円	0.68 g-CO ₂ / 円	0.61 g-CO ₂ / 円
対廃棄物運搬量：CO ₂ 排出量	7.47 kg-CO ₂ / t	7.42 kg-CO ₂ / t	7.51 kg-CO ₂ / t

- ① 今後も環境負荷量の計測を行い、エコドライブの啓蒙活動を行う
- ② 老朽化した車両の低公害車入替をすすめる
- ③ 社員教育により環境負荷